

令和元年度 後期 学校評価報告

令和2年2月

京都市立高野中学校 校長 西田 育世

後期学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。以下に、生徒と保護者の集計結果を掲載いたします。各アンケート項目では、実現度を「よく出来ている（7点）」「大体できている（5点）」「あまり出来ていない（3点）」「出来ていない（1点）」「わからない（0点）」から選択していただきました。また、今回の集計結果による実現度を今年度の前期と比較しました。

<生徒と保護者の実現度（前期との比較）>

質問	生徒		保護者	
	〇I 前期	〇I 後期	〇I 前期	〇I 後期
1. 規律ある生活習慣とルールを守る態度の育成（時間を守る・身だしなみなど）	4.9	4.6	4.6	4.6
2. 進んであいさつすること	5.2	5.0	4.8	4.9
3. 学習の基本となる姿勢や習慣づくり	4.7	4.6	4.2	4.5
4. 家庭学習の充実	4.4	4.1	4.0	3.9
5. 基礎の定着を図る補充学習（ベーシック学習と学習会、土曜自習教室など）	4.9	4.8	3.9	4.1
6. 学習確認プログラムの活用（予習シートと復習シートの活用など）	5.1	4.7	3.8	4.0
7. グループ学習（学び合い）の活用と言語活動（伝え合い）の充実	5.2	5.1	3.5	3.7
8. キャリア教育の充実（ファイナンスパーク学習、チャレンジ体験、進路学習など）	5.0	5.4	4.0	4.4
9. 学習・情報センターとしての図書室活用	4.5	4.4	3.0	3.3
10. 支え合い、高め合える集団づくり（学級、生徒会、部活動）	5.1	5.2	4.5	4.6
11. 人権を尊重し、社会にある課題を見抜き、解決する態度の育成	5.0	5.0	3.9	4.2
12. 道徳の時間を中心に豊かな心を育み、実践する態度の育成	5.1	5.0	3.8	4.1
13. 学校だより、学年だより、学級通信やホームページでの学校の様子発信	4.9	4.7	5.2	5.5
14. 学校運営協議会を活用し、学校と地域が一体となった学校づくり	4.5	4.2	4.0	4.3
15. 学校評価システムを活用した、より良い学校づくり	4.5	4.2	3.8	4.1

前期との比較では、生徒の集計結果は、少し数値が下がりはしましたが、ほぼ前期の実現度と同程度の数値となりました。特に、「8. キャリア教育の充実」については、それぞれの取組を行うことで「自分の生き方について」考える機会になっただけでなく、取組について文化祭で発表することによって、さらに深い学びにつながったことが実現度の向上につながったと考えられます。次年度もしっかりと目的を達成できる学校行事を行っていきたいと思います。また、「10. 支え合い、高め合える集団づくり」では、自分たちの手でより良い学校にしようという生徒会の活動が生徒の達成感につながっているのではないかと思います。「11. 人権尊重」「12. 道徳の時間」については前期と同様の実現度の数値ですが、これからも学校経営の柱の1つとして継続して取り組んでいきたいと思っています。

保護者の集計結果は、前期よりも１３項目（１５項目中）で実現度が上がりました。これは、保護者が学校行事（文化祭・体育祭・自由参観週間など）やＰＴＡ活動に参加していただく機会が増え、学校のように生徒のように感じていただくことが評価につながったと考えます。高野中学校は、今年度も文部科学省の指定を受けて「すべての生徒を支える カドのないまあるい学校」をめざして、「教育のユニバーサルデザイン化をベースとした生徒一人一人の「達成感」「自己肯定感」を高める支援と授業改善」に取り組んでいます。次年度も継続して取り組んでまいります。

これらの成果に対して課題を２つ挙げます。１つは、家庭学習の充実です。学力の定着に必要な家庭学習への取り組み方を各教科で検討し、生徒が「知的好奇心」を持てるような、そして成果が出るよう取組を進めていきたいと思えます。もう１つは、あいさつ、ルール・規律のある生活習慣の改善です。学習の基本となる姿勢や習慣づくりにも大きく関わってくることであり、今年度「高中スタンダード」を作成しました。それをもとに取り組んでいきたいと思えます。

今回の学校評価アンケート結果を、今後の学校改善に活かしていきたいと思えますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。